

# 江戸川区教組・江東区教組11月教研

—私の3月10日—

東京大空襲被害者の体験・思いを聞こう

お話下山 公江さん(元江東区中学校教員・江東区猿江2丁目在住)

『民衆が虫けらのように殺される』それが戦争であると私は自らの体験と歴史から学んだ。』と3月10日の体験を語る下山さん。6歳の下山さんが体験した3月10日は「忘れろと言われても忘れられない地獄の一夜だった」のです。千葉街道を歩く途中、道路という道路には焼け焦げた死体が折り重なるように行く手をふさぎ、小名木川橋や四の橋付近の川は、水死体で埋まっていたそうです。そうした下山さんは、戦争体験が風化していくだけでなく、侵略戦争を美化する人間まで出てくる時代に危機感を覚え、あの日3月10日を語り続けようとしています。自衛だ！国益だ！と言って、民衆を戦争に駆り立てる政治に警鐘を鳴らし平和の尊さ、大切さを理解するためにも是非下山さんの切実な体験に基づいた話を聞いてみませんか。

11月11日(金)18:00~20:00

タワーホール船堀 402会議室 江戸川区教職員組合